(様式-1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	土砂運搬時における安全管理
2	工事(業務)名	横場新田地区河道掘削その6外工事
3	受注者名	株式会社皆川組
4	工期	令和 3年 5月 8日 ~ 令和 4年 3月31日
5	担当技術者(立場)名	(のぐち おさむ) 現場代理人 野口 治
6	担当主任監督(調査)員	三条出張所長
7	課題区分名	⑥安全管理 (—————)
8	工事(業務)概要	施工箇所が2箇所に点在しており、横場新田地区では河道掘削工事、西 野地区では堤防管理用通路のアスファルト舗装工事を施工した。

9 【施工における 課題・問題点 等】

施工箇所が点在しており、冬期を含めて両地区とも掘削土砂や再生砕石、アスファルト合材をダンプトラックで大量に運搬することから、交通事故や過積載のリスクが高かった。

特に1月、2月は積雪や気温低下による路面凍結などによるスリップ事故も予想され、ダンプ運転手一人一人の安全意識の高揚と当事者意識を持たせて、少しでも危険となる要因を排除し交通事故のリスク低減を図った。

15 人 アルコール核出者

2022/01/26 07:49:50

000mg

※基準値(呼気中):0.15mg/L未満

測定人数

DATE TIME RESU

10 【実 施 内 容】

(1)アルコールチェックの実施(朝礼前)



- ②1日2回(朝礼時、午後作業前)のKY活動(気象を含む)
- ③無線式簡易重量計による過積載防止
- ④VasMap (バスマップ) 搭載による運搬経路確認
- ⑤ハザードマップによる運搬経路の危険箇所周知
- ⑥携帯型緊急連絡マニュアルの配布

11 【実 施 結 果】

- ①基準値(呼気中)は0.15mg/L未満であるが、アルコールを検出した運転手は誰もいなく、飲酒運転防止につながった。
- ②当日の作業前と午後の作業開始前に気象を含むKY活動を実施した結果、作業員の安全意識を高めることができ、不安全行動もなく無事故・無災害で現場を終えられた。
- ③無線式のため配線の手間もなく使い易い簡易重量計にて、土砂積込み後のダンプ重量を測定して最大 積載量及び車両総重量20t以下を確認した。重量を超えたダンプは再度積込み場で土砂を落とし、再計 量した後、出発するため過積載はなかった。
- ④今回は先頭、中間、最後尾の3台に設置して、リアルタイムでの車両位置把握による到着時間予想や 軌跡による運搬ルート確認など交通事故対策等には非常に有効であった。
- ⑤事前に危険箇所を周知することで運転手は安全運転をし、事故なく運搬作業を終えられた。
- ⑥現場での災害発生時において、連絡内容や連絡先、救急病院などを正確に伝達できるようにカード型のマニュアルを作業員に配布し誤報等がないようにしたが、幸いにも今回の使用は無かった。

【実施内容等】

②1日2回のKY活動(朝礼時・午後作業前)



③無線式簡易重量計による過積載対策











④VasMap (バスマップ) 搭載による運搬経路確認







⑤ハザードマップの作成、周知



⑥携帯型緊急連絡マニュアルの配布





